



タオルハンガー

「さくら さかせるぞう」について

- ・1995年1月17日、阪神淡路大震災後、「生きがい、しごとづくり協同事業」として、「まけないぞう」が誕生しました。
- ・2004年新潟中越地震の際は「まけないぞう」が神戸から伝えられ、被災者の「生きがい」とささやかな「収入」として活躍しました。
- ・2011年3月11日東日本大震災、新潟県山古志村から、私たちが避難していた郡山の避難所へ「がんばるぞう」が伝わり、私たちの故郷町を象徴する「さくら」にあやかかって「さくら さかせるぞう」として再デビューしました。
- ・「ぞうさん」を通して、絆のバトンが繋がっています。

頒布価格 ¥500

製作：「さくら さかせるぞう」製作グループ

福島県双葉郡富岡町は2011年3月11日の大震災で激震と津波の被害に遭い、その後の原発事故で「全町民避難」という生活を送っています。

東北地方・福島県有数の桜の町として知られる富岡町、春になると2000本の桜が咲き誇り、夜の森公園では毎年桜まつりが行われていました。それはそれは美しく、町民自慢の桜です。震災後は残念ながら富岡町の桜を直接見ることは出来ず、避難先であるいわき市で、私たちの町に想いを寄せながら、仲間と一緒に「さくら さかせるぞう」を製作しています。

震災後一年、生活は落ち着き始めていますが、これからの見通しは全く立たない状態です。続けて関心を持ってご支援をいただければ幸いです。

ぜひお友だちにも紹介し、「さくら さかせるぞう」の販売にもご協力ください。

お問い合わせ：グレイスケア(泉グレイスチャペル)担当：増井

〒971-8172 福島県いわき市泉玉露3丁目10-18 電話：0246(56)3447

メール：sakurasakeruzou@gmail.com 協力：小名浜聖トモテラピアセンター

* 富岡町・原発避難者に関する情報は、「富岡インサイド」を検索しご覧ください。

* 「さくら さかせるぞう」の利益は、経費を除いて製作者たちに渡されます。



タオルハンガー

さくら さかせるぞう

富岡町・泉玉露応急仮設住宅
「さくら さかせるぞう」製作グループ